

学発番号: 学18-058  
事業名: 臨床化学免疫血清研修会  
日時: 平成31年1月29日(火)18:30~20:00  
場所: 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室  
主 題1: 最近流行の梅毒と検査法について~偽装の達人を見逃さないために~  
講 師1: 高橋 徹 氏(極東製薬工業株式会社 営業学術部 顧客支援課免疫・生化学グルー  
参加数: 総数 15名(京臨技会員: 15名)  
報告者: 森田 悠里(株式会社ファルコバイオシステムズ)

以下、講演内容など

今回は、近年流行が話題の梅毒と風疹について講演をしていただきました。梅毒は年々報告数が増加しており、特に感染早期の報告が増えているとのことでした。試薬性能が向上している為、検査値の考え方としてRPR(-)、TPAB(+)の場合、梅毒既往と考えるだけでなく、

感染初期の可能性も考える必要があるとの事でした。風疹については、妊婦が風疹に感染すると、先天性風疹症候群の原因となる為、ワクチン接種による感染防御が必要であり、2013年と2018年の流行では20~40代の男性が感染者の8割以上を占めていた為、

この世代への抗体価測定とワクチン接種の早期推進が求められるとの事でした。近年流行している感染症の動向と検査について知る事ができ、有意義な研修会となりました。